

## 鮎 2020 釣行記

2020年7月23日～25日 一 小国川

# 釣行記

\* 下線付き文字をクリックするとリンク先に飛びます

毎年恒例のFFFC.(Fukushima Fisheries Fishing Club 福島の水産関係者の釣りクラブ)の鮎釣り旅行です。私が退職した時には既に行われていた釣り旅行で、その頃は地元福島の伊南川や野尻川などでやっていたのですが、冷水病の蔓延で県内の河川は壊滅状態となり、一部の人たちで山形の真室川などで細々と継続されていました。その後、小国川という良い川があるとのことで場所は小国川へ、当時は、上流の瀬見温泉を拠点に温泉宿に泊まり、二泊三日の温泉旅行が定番でしたが、私が小国川のトーナメントに出る中で、ポイントがわかる下流域へ拠点が移り、さらに、あゆっこ村のコテージを使うと会費がかなりお得に♪。最初の頃は、温泉宿+コテージというパターンでしたが、私の料理のスキルアップ?とともに、コテージ二泊パターンに変化。いつもは、7、8名のコアメンバーに加え、若者やゲストなど、何だかんだで10名近い参加者で賑わっていたのですが、今回はコロナの影響や怪我などで、参加者は5名と寂しいものになってしまいました。さらに、長雨続きで増水状態。気分はかなりブルーです。

さて、今回は、4連休を活用してのFFFC。前々日に降った雨で、1m増水からの減水傾向。どこまで減水してくれるか・・・木曜の朝、3時にいわけを出発。Sさんに乗せて相馬のEさん宅へ向かう。早朝ということもあって、Eさん宅には5時前に到着。本人が出てこないというハプニングもあったものの、5時半には相馬を出発し、集合場所の小国川観光に到着したのは8時半ごろ。OさんとU君と合流し、雨が小降りになるのを待って無難な長沢堰堤に向かうと、既に関東ナンバーの車が数台止まっており、さながら大会のような賑わい。さすがにこのご時世、駄目でしょ!ということで、密をさけて、小国川観光の下流のザラ瀬でやることにする。タープを設営し、何時でも宴会ができる状態にして釣りを開始。気になっていた垢はある程度残っていてハミ跡もあるので期待は高まりますが、流心に立ってへち、流心と釣るものまったくのノー反応。かろうじてU君が流心で鮎を掛けるものの、皆さん玉砕で初日を終了。私もOデコ・・・

鮎っこ村のコテージで楽しい一夜を過ごし、二日目は解禁直後に良かった東長沢へ向かう。到着すると、前回来た時よりも結構な高水。それでも前回良かった瀬に向かうと、やはり、垢が残っていない。一通りオトリを通してみるが無反応。そこで、橋上流のU君とSさんのところへ、すると、前日も好調?だったU君が一尾釣ったとのこと。見ると、ここは両岸に垢が残っている感じ。右岸側に渡って、垢がありそうな所を探っていくと、ちび鮎が掛かり始める。12,13 cmサイズだけど、オモリを使って何とか循環させ、昼までに6尾をゲット。他の面々もかなり苦労している感じだ。

昼を挟んで、午後一。今度はチビ鮎ながら天然を持っているので、再度、下流の瀬に向かう。今度は、対岸のへちまでオトリを入れ込むが、やはり鮎は留守のよう。ここで、方針変更。橋上でちび鮎釣りの練習に切り替えることに。今度は左岸側の残り垢を通していくと、想定通りのチビ鮎を2尾ゲット。オモリを付けて、垢が残っている石の脇に沈めて止めると掛かる感じ。トーナメントでは必須の釣り方?ところが、ここで急展開。大石の裏にチビ鮎オトリを入れると、期せずして18 cmクラスが掛かってきた。さらに、これをオトリにすると同サイズが掛かる。そして、気が付いたの



二日目、東長沢は天気回復。午後は少し反応が良くなりました。



今回のメインはこちら?恒例のあゆっこ村コテージで宴会です。今回はちょっと寂しい参加です。



二日目。ようやく鮎の塩焼き。でも半分以上はオトリ・・・



一日目のメイン料理は、クロソイのアクアパッツァ

が、流心の向こう側の残り垢でチビ鮎がポツポツ掛かる。この場所は腰まで立ちこまないとオトリを入れられず釣りにくいし、増水でゴミが沈んでいるらしく、一尾釣っては根掛かりでロスト連発。ペースにならないので、再び対岸に渡って、同じ筋を通すと、ようやくペースアップ！しかし、ここでEさんから、まだやるの～？との電話。ここからが見せ場なのに、渋々帰着。結局、この日は掛けたのは20尾ほど。何とか、二日目にして塩焼き成立です。

最終日は雨次第。予報では、朝方まで雨で、8時頃からは曇り予報。この日も皆さん4時半には起床！早々に朝食を済ませて、コテージを出たのは7時。いまだかつてない早い出発です。若者が居ない今回は老人タイムでの行動？まだ、小雨が残る中、初日にできなかった長沢堰堤に到着。連休二日目まで釣れなかったためか、一関大橋周辺の河川敷も人気が無い。もちろん長沢堰堤も貸し切り状態です。

まずは右岸側に渡り、垢の状況を確認。よさそうなのは、堰堤下の瀬肩なので、そこから釣りスタート。流心脇の駆け上がりにはオトリを通すと2連発。その後は瀬を50mほど探るもチビ鮎1尾のみ、再び瀬肩に戻ると、ようやく20cmクラスが掛かるも、その後はチビ鮎2尾追加。気が付けば、皆さん意気消沈のようで、これ以上続けても・・・的な感じ。予定よりも早い10時に終了！

今までも、大雨などで厳しいFFFCはありましたが、こんなに魚の気配が薄い小国川も珍しい。解禁直後にはあれだけ居た天然魚はいずこ？天候が良くなれば、きっと回復すると願いつつ、小国川を後にすることに。



何とか綺麗な鮎をゲット。でも長雨のせいかな？痩せ気味。



今回は尾花沢のスイカを買うことができました。天候から味が心配されましたが、今年も甘くて美味しいスイカでした。最近、小松農園さんがお気に入りです。

タックル	
竿	FW90、競技T90
水中糸	ランプレミアム004号
下付け糸	フロロ0.3号
ハリス	1.0号
針	マルチ6.5号4本針